

平成29年度 都城市立丸野小学校 学校運営協議会委員評価書

学校経営ビジョン	「気付き、考え、行動する子ども」を育成するため、声をかけ合い助け合い、協力し合う教職員で、児童一人一人のよさや可能性を精一杯伸ばせるよう、最大限の知恵を絞る。「認め・褒め・支えて、鍛える」中で、心身ともに健康でたくましく、自ら学び自ら考える子どもの育成と、地域に信頼される学校づくりを目指す。							
学校の教育目標	心身ともに健康でたくましく、自ら学び自ら考える子どもの育成							
めざす児童像	お 思いやりのある子ども か 考える子ども け 元気な子ども							
重点目標 (経営ビジョン)	1 分かる・できるの実現と基礎学力の向上 3 体力の向上と安全意識の向上				2 豊かな人間性の育成 4 特色ある教育の推進と地域に信頼される学校づくりの推進		※ 評価の基準 4…期待以上 3…ほぼ期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する	
評価項目 (重点目標)	手段・ゴールイメージ	自己評価の結果(4段階)			学校の自己評価(成果と課題)	学校運営協議会委員の評価		改善策
		職員	保護者	児童		評価	意見等	
1 分かる・できるの実現と基礎学力の向上	1 「もっと楽しくもっと分かりやすい授業」を創造する(授業の工夫改善・基礎基本の徹底・言語環境の整備・主題研究の充実)	3.3 →	3.3 ↑	3.6 →	・習熟の時間の確保を中心とした授業改善を行い、基礎基本の定着を図るように心がけ、日々の授業実践を行った。	3.5 ↑	・授業態度が良く、自分の意見をしっかりと言える児童が増えたように思う。 ・授業に工夫が見られ、1人1人へのアプローチがしっかりとなされ、充実した学びが展開されている。	・参観日の学級懇談等で、家庭学習の手引きについて説明し、家庭と連携しながら学習習慣の定着を図る。 ・「楽しく分かりやすい授業」を具現化できるよう主題研究を更に推進する。
	2 CRTテストの平均得点率(丸野小-全国)の差を前年より上げる	-	-	-	・昨年度との経年分析の結果、国語・算数ともに、多くの学年で平均得点率の差を、前年度より、上げることができた。	3.8 →	・保育園でも、文字や数字を取り入れた活動に取り組んでいる。継続性を考慮して、学習内容や食育についても、もっと連携を図れるとよい。	・近隣の保育園との連携を図りながら、小学校への接続がスムーズとなるように、相互乗り入れ等の活動を推進する。
	3 家庭学習のさらなる充実と工夫、習慣化を図る	2.9 ↓	3.0 ↓	3.5 ↑	・家庭での学習状況は、個人差が非常に大きい。 ・参観日の懇談等を利用して、家庭で学習について話題にしたり、手引きの啓発を図ったりしたが、今後もさらに取組を継続する必要がある。	2.8 ↓		
2 生徒指導の徹底をとおした、豊かな人間性の育成	1 基本的な生活習慣を定着させ、きまりや約束を守る態度の育成	2.9 ↓	3.5 ↑	3.3 ↑	・来校者や地域の方々へのあいさつが十分でない。廊下歩行が徹底できていない。チャイム黙想やくつ並べは良くなってきた。	3.3 ↓	・基本は本を読むことだから、読書活動に力を入れて欲しい。	・家庭との連携を図りながら、週末読書や親子読書の取組を更に推進し、昨年度の平均読書冊数を上回る。
	2 各種体験活動をとおして、自主性や自立、協調性の醸成	3.1 ↑	3.5 ↑	3.3 ↓	・6月から全校ボランティアに取り組んだが定着しなかったことから、2学期後半より、曜日を指定して取り組んだ。	3.6 ↓	・読み聞かせをしている時の態度は素晴らしいと思いますが、自らよく本を読んでいるかどうかは把握していなかった。	・年間を通し、あいさつ運動やボランティア活動を実施し、児童の自主性・主体性を醸成する。
	3 生徒指導の三機能を生かした、積極的な学級経営を行う(自己肯定感の育成、自己決定の場の自主的行動の習慣化)	3.3 ↑	3.6 →	3.3 ↑	・すこやかアンケートをもとに毎月教育相談を行い、児童理解に努めた。放課後や休日の過ごし方について把握できない面もあったため、アンケートを見直していく。	3.6 ↓	・先生方と児童の関係、子どもたちのしっかりした笑顔のあいさつ、整理整頓が素晴らしいと感じた。	
	4 読み聞かせや読書活動で豊かな感性の醸成	3.1 ↑	2.5 ↑	3.0 ↑	・週末読書を設定し、読書活動の日常化を図ることで評価が去年よりも向上したが、今後も更なる啓発が必要であると考え。	2.8 →		
3 健康安全教育の徹底をとおした、体力の向上と安全意識の向上	1 「自分の命は自分で守る」態度と能力を育成する(危険予知能力、回避能力の育成)	3.1 ↑	3.3 ↓	3.7 ↑	・本年度は、風水害に対応した訓練を実施した。実際の大雨・雷の時に非常に役立ち、スムーズに下校させることができた。	3.4 ↑	・ホームページで見た「お弁当」は、とても上手にできていました。	・家庭と連携をしながら、早寝・早起き・朝ごはん運動を推進する。
	2 個に応じた、体力向上プランに基づく取組(業間の工夫、運動の日常化)	2.8 ↓	3.3 →	3.7 →	・体育主任が体力向上に関わる取組の提案を行うことができたが、まだ浸透していないので、職員会議等を利用して、更に共通理解を深め、日々の実践を重ねていきたい。	3.5 ↑	・自らの命を自ら守る行動ができる指導がなされていることが、素晴らしいと思う。	・関係機関や保護者等の協力を得ながら、昨年度に引き続き、う歯の治療率85%以上を目指す。
	3 業間活動(サーキット運動・持久走・縄跳び)の工夫				・サーキット運動については、1月に再提案したので、実践を重ね、これからの体力向上を見届けていきたい。		・治療率85%は素晴らしいと思う。養護教諭を中心とした啓発活動が、治療率の向上につながっている。	・次年度より本格実施されるフッ化物洗口事業を滞りなく実施するとともに、健康委員会を中心として、むし歯予防に関する取組もあわせて推進する。
	4 家庭と連携しながら食育の推進(早寝・早起き・朝ご飯の習慣化、「弁当の日」の取組の充実)	2.8 ↓	3.3 →	3.1 ↓	・食育及び生活習慣化の推進(早寝・早起き・朝ごはん)については、子どもたちに事前事後の指導を確実にを行い、児童自ら主体的な活動ができるように配慮した。	3.0 ↓	・保育園の立場からも、フッ化物洗口事業が始まるのは、幼稚園保育園からの継続性を考えると、非常に有り難い。	
	5 う歯治療率のさらなる向上	3.5 ↑	3.4 ↑	3.2 ↓	・全校朝会での啓発劇を行うことにより、治療率(約85%)が格段に向上した。今後も児童に対して、う歯予防とう歯治療の意識づけを図っていきたい。	3.8 →		
4 特色のある教育の推進をとおした、地域に信頼される学校づくりの推進	1 丸野小学校運営協議会の一層の活用と地域と共にある学校づくりの推進	3.5	-	-	・志和池地区3校合同の学校運営協議会を、本年度も1回開催した。各校の取組を知る貴重な協議会となった。 ・委員のご意見や評価を核にした学校評価システムを活用することで、より地域に根ざした教育課程を編成することができた。	3.8 →	・丸野小は、様々な教育活動に地域の人材や施設を活用しており、地域との連携が十分に図られている。	・地域の方々から御協力をいただいているふれあい活動内容をブラッシュアップしながら、より児童にとって魅力ある活動にしていく。
	2 地域の素材・人材・施設活用の工夫	3.4 →	3.5 ↑	3.6 →	・地域の方々にご協力いただき、充実した学習活動(ふれあい活動・地域の伝統行事の話等)を実施することができた。	3.8 ↓	・地域の行事に先生方が参加されることで、地域の方が喜んでいる。	・次年度も、ホームページを活用し、各校務分掌及び各学年毎に、情報提供を月2回以上行っていく。
	3 学校だよりの発行をとおし、学校・児童のよさや活躍の様子を家庭・地域への発信	3.4 ↓	3.6 ↑	-	・毎月一回、地域にある全戸向けに学校だよりを配布し、学校や児童の様子を発信した。 ・リニューアルしたホームページに、各学年部及び校務分掌毎に、月に1回以上、新たな情報をアップし情報発信に努めた。	3.8 ↓	・地域の人材が学校に足を運ぶことで、子どもたちとふれ合ういい機会となっている。	
	4 関係機関、各地域役員との積極的交流の推進	3.1 ↓	3.3 →	-	・担当の職員で分担し、地域や志和池地区まちづくり協議会、社会福祉協議会等の行事に積極的に参加し、地域や関係機関との連携を密にした。	3.8 →	・これからもホームページを見ながら、学校の教育活動に関心をもっていきたい。	

